

**新潟大学との包括的な産学連携推進に関する協定締結のお知らせ**

国立大学法人新潟大学（本部：新潟県新潟市、学長：高橋 姿、以下「新潟大学」）とデンカ株式会社（本社：東京都中央区、社長：吉高紳介、以下「デンカ」）は、2016年7月20日、新潟大学駅南キャンパスときめいにて、ライフサイエンス分野を中心とする包括的な産学連携推進に関する協定を締結しましたのでお知らせいたします。

新潟大学は、高志（こし）の大地に育まれた敬虔質実の伝統と世界に開かれた海港都市の進取の精神に基づき、自律と創生を全学の理念に掲げ、環東アジア地域を基点に世界を見据え、教育と研究及び社会貢献を通じて、世界の平和と発展に寄与することを全学の目的として、日々活動されております。

デンカは、「The Denka Value（企業理念）」に則り、「化学の未知なる可能性に挑戦し、新たな価値を創造（つくる）することで、社会発展に貢献する企業となる。」ことを使命と捉え、環境、エネルギー、インフラ、健康などの成長を続ける分野へ資源を集中しながらグローバルな事業戦略を加速しています。新潟県においては、糸魚川市に主力工場である「青海工場」、五泉市にはインフルエンザワクチンや検査試薬などを生産しているデンカ生研株式会社ほか、グループ会社が多数あります。2014年からは新潟スタジアムのネーミングライツを取得し、「デンカビッグスワンスタジアム」と命名させていただいております。

これまで、新潟大学とデンカグループは、医学部、歯学部を中心として長年にわたり共同研究等を進め、実績を上げてきた経緯があります。今後は、包括的な共同研究を中心に、次世代技術開発を加速させてまいるとともに、更に密接な協力関係を構築、活用することで、地域社会や国際社会の発展に貢献してまいります。



7月20日締結式（左：吉高社長 右：高橋学長）

【本件に関する問い合わせ先】 CSR・広報室 03-5290-5511